

あらき ニュース

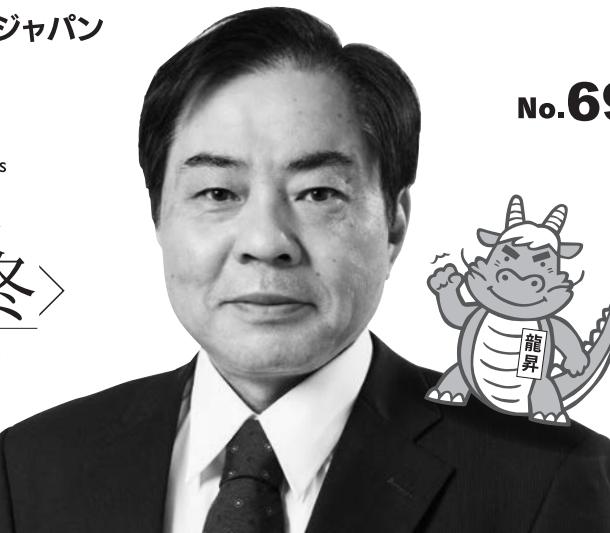
Ryusho Araki News

No.69

緑の党
グリーンズジャパン

発行: 福岡市議会議員 あらき龍昇
〒814-0033 福岡市早良区有田5-17-7
TEL.092-862-8980/FAX.092-862-8985
メール f-lapas@hf.rim.or.jp

2019
<秋冬>
号



[p2-p3]無償化とは名ばかり! もっと子育て支援の充実を! / [p4]2018年度決算について

人口減少を迎えた今 神戸市・富山県高岡市 視察調査報告 (8/28~29) 「都市の成長」よりも、持続可能な地域づくりを!

■ マンション建築の規制強化を!

いま全国的に中心市街地で問題となっているのは、再開発によって都市の多様な機能集積がうまくいかず、住宅開発が進んでいることです。商業施設を作つてテナントを誘致するよりも住宅を作つて処分した方が手っ取り早く収益が上がるためです。特にタワーマンションは所有者が多い上に投資目的の所有者が多く、補修・建て替えなどの際に大きな課題を抱えており、将来は都市のスラム化・スポンジ化が起こると指摘されています。

今回、神戸市を中心地・三宮駅の周辺でタワーマンションの建築規制を始めたと聞いて、調査に行きました。神戸市の措置は、急激な人口増による行政需要が対応できなくなっている現状への対策とともに、将来課題への先見性のある対策であり、また都市の景観や都市の多様な機能の集積による賑わい創出を誘導する政策として評価できます。福岡市でもマンションの乱開発を規制し、住宅戸数を管理していく必要があります。

= ■ 移動支援の充実を! 「ドアtoドア」型の移動支援を!

高齢者ドライバーによる事故が多発し、免許証返納と一緒に、高齢者・障がい者の移動手段の確保が喫緊の課題となっています。福岡市においても交通不便地・交通空白地対策は課題であり、生活交通条例をつくつて対策が取られていますが、十分とは言えません。条例改正も含めた、支援策の充実が求められています。

今回調査した高岡市のオンデマンドタクシーおよび地域バスの取り組みは福岡市においても参考になり

ます。福岡市でも似たシステムとして東区・香住ヶ丘の買い物バスの運行や、早良区・内野(西地区)のタクシーによるオンデマンドバスが実施されていますが、今後ますます高齢化が進むことを考えると、高岡市や他都市の事例を参考につつ、もう一歩進めて、自宅から目的地まで低料金で移動できる「ドアtoドア」型のシステム構築が必要だと考えます。

皆さまの声が届く議会づくりを目指しています。

- ・ぜひ、市政に関するご意見や、日頃の生活の中でお気づきのことなどお聞かせください。
- ・2019年前半の議会報告書(無料)を希望される方は、ご連絡ください。移動支援施策について特集しています。

あらき事務所

☎ 092-862-8980



あらき 龍昇
公式ウェブサイト
<http://www.araki-jp.com/>

— このニュースは、議員活動の一環として、税金から賄われる「政務活動費」を用い発行しています —

森あやこ ニュース

Ayako Mori News

発行: 福岡市議会議員 森あやこ

〒813-0044 福岡市東区千早5-17-18 TKビル2号館1階

TEL.092-662-5077 / FAX.092-662-5097

<http://ayako966.blog.fc2.com/>



[p2-p3]無償化とは名ばかり! もっと子育て支援の充実を! / [p4]2018年度決算について

大規模災害! 浸水、停電、断水が 同時に起こる!! あなたの備えは大丈夫?

10月の台風19号の甚大な被害は、人の力が及ばない脅威を感じました。近年相次ぐ、想定を超える大きな災害に對し、できる限りの備えと、異常気象をもたらす気候変動を極力抑える取り組みを進めることが重要です。

・ご家庭で ~災害グッズや備蓄品の再確認を!~

停電・断水などが起っても、家で1~2週間過ごせる準備ができているといいですね。水、食品だけでなく、“排泄”も問題です。流さず固めるグッズや渋滞時の車内用なども色々あります。それぞれのライフスタイルに合わせ、万全の備えをしておきましょう。

・今一度、ハザードマップの確認を!

災害の種類によって安全な場所が違ってきます。福岡市では各種災害リスクをWEB上で確認できる『総合ハザードマップ』を提供しています。自宅や仕事先などの危険性を確認しておきましょう。

・意識をもって自己訓練を!

身の周りの災害リスクや避難所までの経路などを、ご家族や介護者・支援者の方々と話し合ってみてください。シミュレーションをしたり避難できる場所や経路を実際に確認したりするのもいいと思います。一人ひとりが日頃の行動の中で意識し、心と体の備えをすることが大切です。

・原子力災害(原発事故)対策は? 浸水被害や停電が複合的に起こればどうなる?

福岡市では、安定ヨウ素剤の分散備蓄、地域防災計画(原子力災害対策編)作成、原子力防災研修及び避難訓練の実施(西区一部校区を対象)がされてきましたが、まだまだ不十分です。

市民が手にする防災減災のための冊子やリーフレット等に複合的な災害として放射能の影響まで触れているものではなく、福岡市の業務継続計画(BCP)や災害廃棄物処理計画の中には、放射能に汚染された時のことは含まれていません。

原子力災害を含めた、防災・減災・縮災の取り組みの充実と、原発に頼らない社会づくりを早急に進めなければいけません。

あなたができる、あなたにできる
一步を進めてくださいね。

生活って政治!

「暮らしのための議会」を実現するため、皆さんのご意見や思いを聞かせてください。

事務所

092-662-5077



森あやこ 公式ブログ
<http://ayako966.blog.fc2.com/>

— このニュースは、議員活動の一環として、税金から賄われる「政務活動費」を用い発行しています —



将来不安のない社会。市民の暮らしを支え、寄り添える市政に。



森あやこ 議員

[9月議会]

◆市民の「困った」に寄り添う ～対応の改善を！

日頃から非常に深刻な相談をたくさん受けます。現制度の範囲で工夫できることはないか、関係部署の職員や担当者とお話をしていますが、区役所や市役所へ相談に行った際、担当課がはっきりせず、たらい回しになった、職員の知識不足のため誤った対応をされた、真のニーズや状況が正確に把握されず適切な判断や対応がされない、また情報提供不足のため相談者に多大な不利益を与えたなど、行政がしっかり相談者に対応できない場合がよくあります。



そこで、9月議会では公務員倫理や接遇研修、市職員の職場環境などについて質問しました。市の公務員倫理に関する条例の第1条では、この条例の目的として「市職員が市民全体の奉仕者であって、その職務は市民から負託された公務であることを自覚し、公正に職務を執行することにより、公務に対する市民の信赖を確保する」とあります。

市民の「困った」状況に対して誠実に問題解決できるよう改善を求めました。

【決算特別委員会】

◆災害対策の強化を！

10月13日夜、伊豆半島に上陸した台風19号は、人口が集中する東京都を通過した後、東日本東部を北上し、広い範囲の各地で甚大な浸水被害をもたらし、多くの犠牲者を出しました。「一人も犠牲者を出さない」との想いで被害想定を見直しながら、災害対応能力を上げていく必要があると考えます。

そこで決算特別委員会では「防災・減災・縮災」をテーマに、▼豪雨対策、▼大規模停電対策、▼原子力災害(原発事故)対策も含めた複合災害対策、▼避難行動要支援者への対応、▼業務継続計画(BCP)など、災害全般について市の対策を確認し、不足している対策を要望しました。

福岡市の内水氾濫対策について

福岡市では過去に天神や博多駅付近など都心部で内水氾濫による被害を経験したことを踏まえ、「雨水整備レインボープラン」に基づき大規模な地下貯水施設を整備してきました。しかし内水氾濫は都心部だけでなく、どこでも起こります。雨水が川へ流出するのを抑制するための小規模分散型の貯水施設も重要であり、福岡市では家庭などに雨水貯留タンクを設置するための助成も行なっています。今後も内水氾濫の対策強化が重要です。

9月議会 主な議案・意見書案・請願

	自民	公明	市民	共産	令和	自民	新進	緑とネット	淀川	無新	無高	無山	無川	無口	無属
子ども子育て支援に関する議案(議案第74~77号)	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
高齢者の安全運転支援と移動手段の確保を求める意見書案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
核兵器禁止条約の締結を求める意見書案	×	○	○	○	×	×	○	×	○	○	×	×	×	○	○
生活交通の充実、整備について(請願)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

請願の紹介議員になりました。
個人でも
できます！
出しき
請願は

請願の紹介議員になりました。

- JR筑肥線と市営地下鉄の乗り継ぎ割引料金と割引区域の拡大について
- 雁ノ巣幼稚園跡地の児童館としての活用について
- 鴻巣池整備計画の見直しについて

日常のお困りごと、相談ごとはありませんか？市政や議会への提案や要望も承ります。請願の紹介議員をお探しの方もご連絡ください。「緑と市民ネットワークの会」は市民の皆さんのがんの声を市政に反映させていきます。



あらき龍昇 議員



[9月議会]

◆生活道路の交通安全対策を！

交通事故発生件数はこの10年間ほどで減少していますが、生活道路での交通事故は全国でいまだ10万件ほど起こっています。特に歩行中・自転車乗用中の死者数が先進国(G7)のなかで最も多くなっています。国土交通省の資料によると、時速20~30kmの場合の致死率が0.37%であるのに対し、時速30kmを超えた場合の致死率は1.56%と、約4倍高くなるとあります。そこで、生活道路(コミュニティ道路)での交通安全対策について質問しました。

このなかで、車の速度規制のため道路がクランク状に整備されている、西新の「オレンジ通り」(プラリバの南側の道路)についても取り上げました。オレンジ通りが先進的なコミュニティ道路として整備されてきた経緯も踏まえ、「直線化」は白紙にすべきと求めた上で、バリアフリーについては電柱の地中化も含めて検討すべきと提案しました。

何よりも重要なのは「地域との合意形成」です。さまざまな住民の声を汲み上げながら、交通安全対策を進めていく必要があります。

【決算特別委員会】

◆「格差と貧困」対策を充実させ、 分かちあう社会に！

教育機会の保障、住居の確保が重要

これまで「生活困窮者自立支援法」や「住宅セーフティネット法」について発言してきましたが、改めて生活困窮者の方の支援策について取り上げました。

負の連鎖を断ち切るには「教育の機会を保障する」ことが特に重要です。すべての奨学金は給付型にすべきであり、現在若者が背負っている奨学金の返済についても減免を講じるべきです。

また、住居は福祉の基盤であると意見を述べた上で、住居の確保と同時に、縦割りの壁を超え、就労支援や生活支援などを連携し、総合的に支援していくことを求めました。

生活保護ケースワーカーの職場環境の改善を

経験が必要な生活保護ケースワーカー業務についても意見を述べました。1人あたりの担当世帯数が約100世帯という現状を改め、国の標準配置数である「1人あたり80世帯」にすべきと要望し、また、経験年数が3年未満というケースワーカーが77%を占め、平均経験年数が1年10ヶ月という実態に対しても改善を求めました。

このほか、

- 建築紛争予防条例の問題点について(9月議会)
- 外国人との共生社会について～それぞれの歴史と文化を認め合いながら共に社会を構成する一員として生きていける社会にすべき～(決算特別委員会)

のテーマについても取り上げました。

—議案第74号～77号になぜ反対したのか？—

「無償化」とは名ばかり！もっと子育て支援の充実を！

この4議案は10月から実施された「幼児教育・保育の無償化」にかかる条例改正の議案でした。私たちは無償化自体には賛成ですが、今回の議案については賛成しがたく、反対しました。具体的には、

- 「副食費」は利用者負担に変更。事業者ごとに副食費が異なり利用者には分かりづらく、事業者にとっても事務負担が増加。(副食費を行政が負担し、利用者負担がない自治体もあります)
- 3才未満は対象外。
- 外国人も消費税を負担しているにもかかわらず、各種学校(朝鮮学校やインターナショナルスクールなどの外国人学校幼稚園)は対象外。

など、「無償化」というには不十分な内容であるため反対しました。

また、今回の「無償化」により利用者が増えることが予想され、保育施設の不足が生じることでの待機児童が増える恐れがあります。事業者の負担増は保育士の待遇改善に悪影響を及ぼします。認可保育園の増設や保育の質の向上、そのための保育士などの待遇改善が急務であり、対策を求めました。

緑と市民ネットワークの会



議会報告ニュース [第16号]

公式サイト <http://midoritonet.info>

秋 /
冬 2019
号

発行:緑と市民ネットワークの会/〒810-8620 福岡市中央区天神1-8-1 福岡市役所 議会棟11階/TEL.092-711-4875/FAX.092-733-5881

「都市の成長」優先は、 地球環境の危機を招く! ～平均気温、福岡市では3.1度上昇～

脱炭素社会の実現を大きく阻害

近年の台風の巨大化と豪雨被害は地球温暖化が原因と考えられており、世界各地でも異常気象が多発しています。脱炭素社会の実現は、世界的な潮流です。

福岡市は再生可能エネルギー利用推進や省エネ対策などの取り組みを提起していますが、「都市の成長」優先の政策が脱炭素社会の実現を大きく阻害しています。

無秩序な再開発、都市膨張

この100年間における日本の平均気温の上昇は1.19度ですが、福岡市では3.1度上昇しています。それは、都市の無秩序な再開発による街のコンクリート化と緑地の減少、そして博多湾の埋立てによる海面の減少や河川空間の減少などによるヒートアイランド現象が激化していることがあります。都市の気温上昇は空調などのエネルギー消費量を増加させます。加えて福岡市の一極集中による人口流入は、エネルギー消費を増させ、自動車等による二酸化炭素排出量の増加を招きます。

2018年度決算においても「都市の成長」のために重点的に投資をしており、無秩序な都市膨張によって、エネルギー消費量の増加をはじめ、さまざまな弊害が生じています。地球環境が危機的状況にあるにもかかわらず、有効に対処できない構造をつくり出しています。

認められない!



市民の暮らしを犠牲にした黒字決算

また、「都市の成長」優先の政策は格差と貧困を拡大させ、「住民の福祉の増進を図る」という地方自治体本来の目的に反します。

一般会計の決算では約100億円の実質黒字となっています。しかし、教育・子ども支援・障がい者支援などの現場では人が足りなく、また専門職は非正規雇用が多いため、制度があっても機能しない状況があります。市民の暮らしを支えるために、専門職の増員と正規職員を増やすなど「人への投資」を優先しなければなりません。「人への投

資」こそが需要を生み出し、経済の活性化にも繋がります。

また、特別会計の決算では約60億円の実質黒字となっています。国民健康保険、介護保険、後期高齢者保険は黒字になっているにもかかわらず、市民の負担軽減には回されていないため、黒字決算が続いている。今年10月から消費税が10%に引き上げられ、市民生活は一段と厳しくなっています。黒字は市民の負担軽減に使うべきです。

2018年度決算は市民の暮らしを犠牲にした黒字決算であり、認めることはできません。

台風15号、19号で被災された方々にお見舞い申し上げます。被災地域の一日も早い復旧復興と、被災された方々が一日も早く通常の生活に戻ることができるようお祈り申し上げます。